

令和3年度 鹿児島県高等学校剣道競技大会 開催に向けてのガイドライン

1 大会出場及び運営にあたって

- (1) 観客の入場については、令和3年度鹿児島県高体連主催大会等の開催における感染拡大防止ガイドライン「全参加校が1つの屋内会場に集まるような競技・会場などについては、無観客とする。」(ガイドライン抜粋)に従い、本大会は無観客での開催とする。
- (2) 各学校の撮影者(チーム関係者)の入館許可。ただし、各学校3名以内(個人戦出場者1名につき1名、団体戦出場チームにつき1名)とし、個人戦終了後に団体戦撮影者と入れ替え制で行う。撮影者は、必ずチーム関係者名簿を提出する。
チーム関係者名簿は、1日目6/4(金)・2日目6/5(土)それぞれの分を、監督会議受付時に、オーダー表と一緒に提出する。チーム関係者名簿をもとに本部でIDを作成し、監督に部門毎に、必要なIDを配付する。IDは、各部門の試合終了後、速やかに監督が回収し本部へ返却し、個人戦撮影者用IDと引き替えに団体戦撮影者用のIDを渡す。
- (3) 選手は、面マスク及びいわゆる家庭用マスク(関係者は家庭用マスク)を持参する。選手は試合時には面マスクとマウスシールドを着用すること。それ以外(待機時間等)は家庭用マスクを着用する。試合時以外でも面マスクを着用する予定の選手は、面マスクのみの持参で可。
- (4) 大会参加者・関係者は、このガイドラインに即して大会に参加し、感染症対策事項や熱中症予防を遵守すること。これを遵守できない場合は、参加の取り消しや途中退場などを求めることがある。

2 入場にあたって

- (1) 監督・選手・関係者は施設への入場時、持参した体調チェック表を提示する。
※体調チェック表を持参しなかった者は、原則として入場させない。
- (2) 試合会場内に見学者等は入場させない。
- (3) 入場口にアルコール除菌液を設置する。
- (4) 選手並びに関係者は検温を行う。
※検温により37.5度以上ある者は入場できない。
- (5) 撮影者は事前入場許可を受けたチーム関係者名簿に記載されている者のみとする。また、入場にあたっては原則検温を受けることとする。
- (6) 体育館への入場順番について(体育館入り口が、密にならないように、時間差での集合)

6月4日(金): 1日目

- ① 8時40分: 女子個人戦出場者
- ② 9時 : それ以外の選手、部員、女子個人戦撮影者
- ③ 女子個人戦終了後: 男子団体戦撮影者

6月5日(土): 2日目

- ① 8時40分: 男子個人戦出場者
- ② 9時 : それ以外の選手、部員、男子個人戦撮影者
- ③ 男子個人戦終了後: 女子団体戦撮影者

※入場の流れについて

入場後 → 各自で体調管理表を準備し提出する。

→ 検温を受ける → 手指消毒を済ませ、速やかに入場する。

※撮影者は、役員用体調チェック表を提出する。

3 大会会場内での留意事項

- (1) 監督・選手並びに関係者は、フィジカル・ディスタンスを常に保つようにする。
- (2) 選手は、試合時に面マスク、マウスシールドを必ず着用し、試合外でも常にマスクを着用する。監督・審判員及び役員もマスクを着用する。
- (3) 選手並びに関係者は、手洗い、うがい、アルコール除菌消毒に努める。また、トイレはふたを閉めてから流す。
- (4) 選手は更衣をできるだけ自宅または学校で済ませ、施設の更衣室を極力使用しない。使用する際には、施設の使用規定を守ること。

4 竹刀検査

- (1) 検査を受ける者は、マスクを着用する。
- (2) 検査 → 退場のルートを一方通行にする。
- (3) 待機時に間隔を取る。(床にテープを張る等の位置決め)

5 暫定的な試合・審判の方法

- (1) 試合時間の短縮、延長戦は区切って行い、休憩を取り入れる等、マスク着用による熱中症対策を積極的に取り入れる。
- (2) 全剣連ガイドラインに従い、試合者は鏑迫り合いを避ける。やむを得ず鏑迫り合いとなった場合は、すぐに分かれるか引き技を出し、掛け声は出さない。(引き技時の発声は認める) 審判員は鏑迫り合いを解消しない場合は、ただちに「分かれ」を宣告する。
- (3) 審判員の試合場への入退場の際は、1メートル以上の間隔を空けて行い、副審は試合開始線の外側を通り定位置まで進む。
- (4) 合議は1メートル以上の間隔を空けて行う。
- (5) 審判員は、試合時マスクを着用する。また、各自の審判旗を持参して使用する。各試合会場の審判員控席にアルコール除菌液を設置し、手指消毒を行う。

6 その他

- (1) 試合会場では常に換気を行う。
- (2) 主催者は、多くの人が触れる用具、箇所(ドアノブなど)を定期的に消毒する。また、施設内トイレの出入口にアルコール除菌液とペーパータオルを設置する。
- (3) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。